

タイトル	大学生のスマホ事情とマッチングアプリの台頭		
所属	中京大学現代社会学部 岡部ゼミ	氏名	上川 貴大

【1. はじめに】

①大学生が普段どのようなアプリを利用しているか調べる

②その中で気になったマッチングアプリについても調査

ちなみに・・・

・大学生（19年卒）のスマホ保有率98.8%

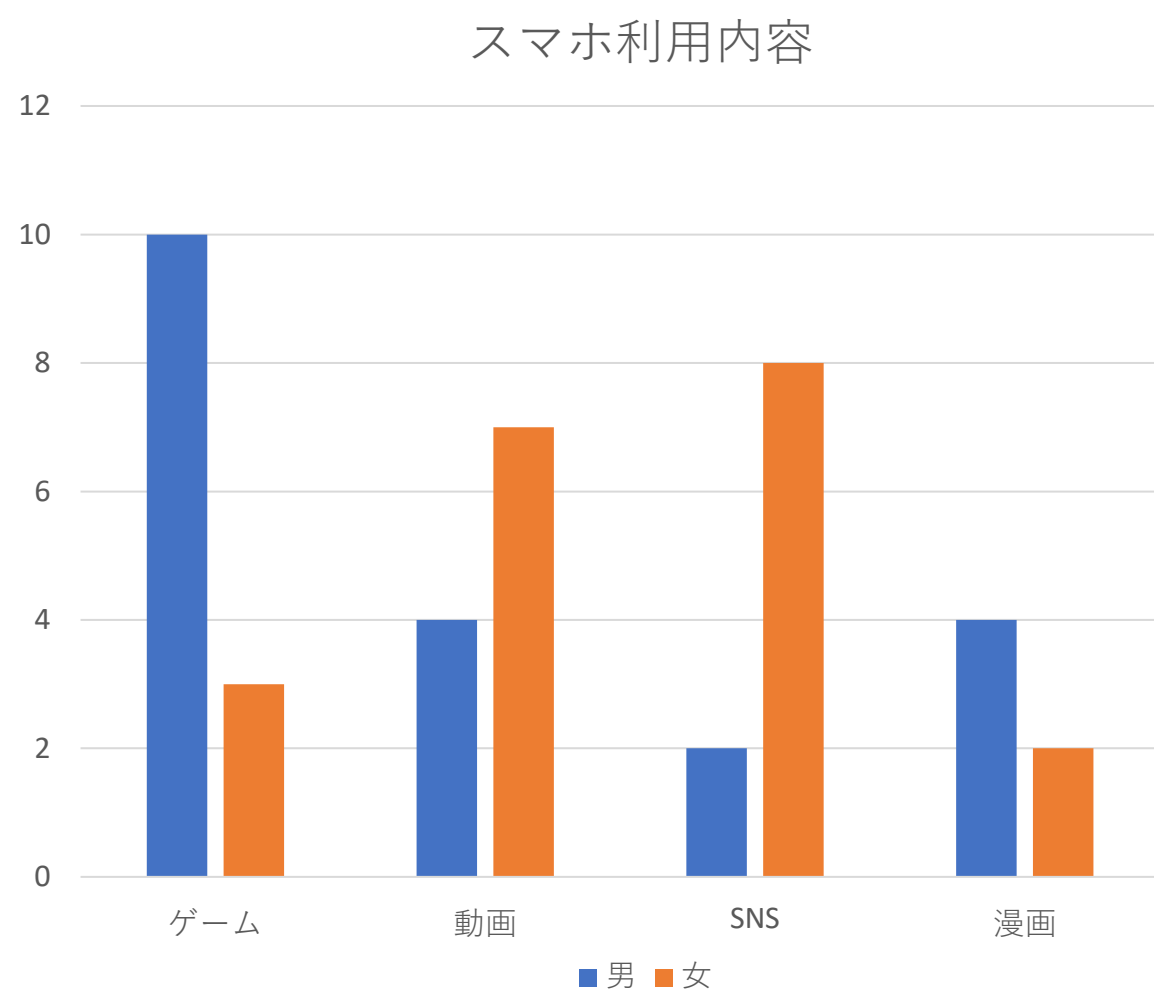
一日の平均利用時間⇒約3時間【マイナビライフスタイル調べ】

【2. ①大学生のスマホ事情】

対象：大学生（サークルメンバー）男女各20名

形式：インタビュー

質問内容：利用頻度が高いアプリ



〈エピソード〉

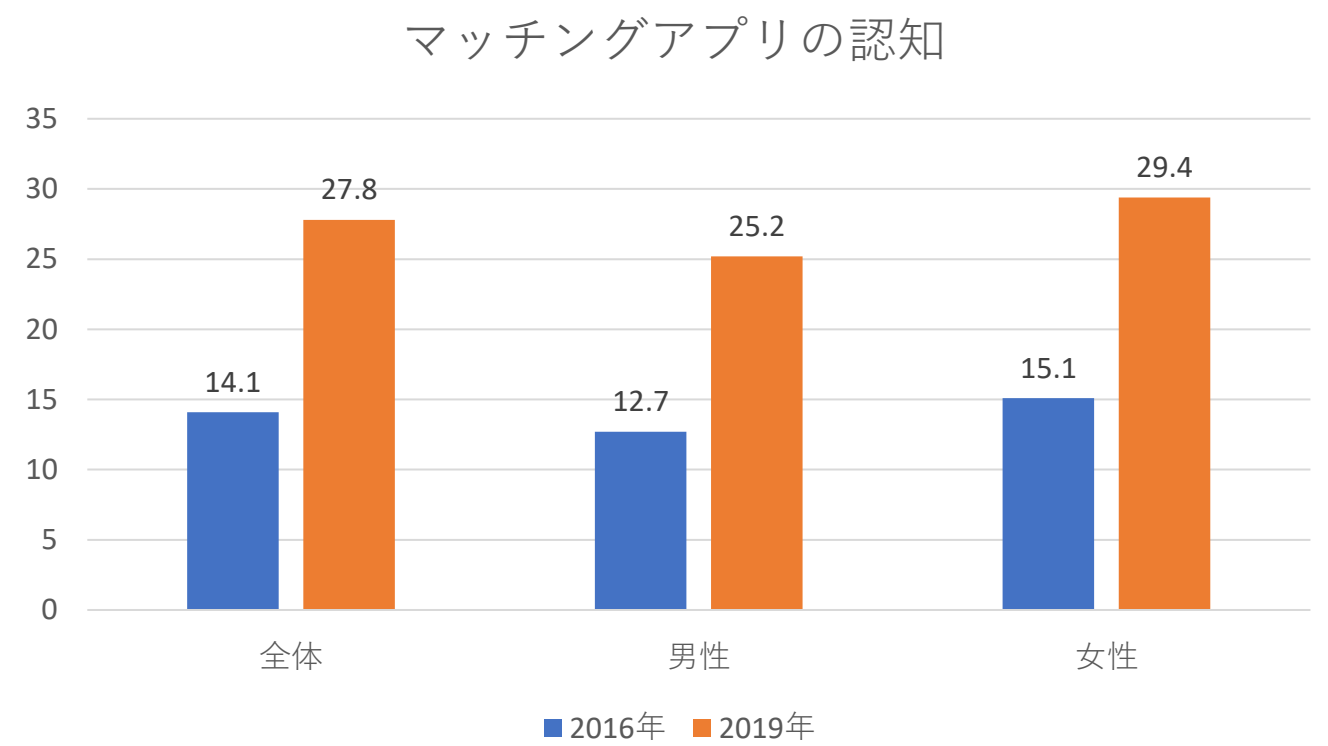
・インスタの投稿からネイルやメイクの勉強をしている（3年女）

・東海オンエアなどのYouTuberの動画を見ている（2年男）

・**マッチングアプリ**で異性と知り合った（4年男）

【3. ②マッチングアプリについて】

◆認知度



◆婚活系アプリ⇒「match」「ゼクシィ縁結び」（年齢高め）

◆恋愛系アプリ⇒「タップル」「with」（20～30代多め）

◆定額料金（多くの場合）

・女性・・・無料、男性・・・有料（月々約4000円）

◎マッチングアプリユーザーの体験談（対象：20代男性）

Q.どのマッチングアプリを利用しているか？

A.「with」と「タップル」

理由：他のアプリより恋愛に対して真剣度を感じられる人が多い。

～以下省略～

◆普及した理由は??

・「スマホ世代の台頭」

・「登録システム」「パトロール」などの安全性

・従来の「対面式デート」⇒「オンラインデート」

【4. まとめ】

①について

・大学生が普段利用しているアプリには男女で僅かだが差異が見られた。

②について

・「公的な身分証明書による年齢確認」・「登録証明書」・「課金制」などにより安全性が保証され、恋愛に対しまじめな人が増えた。

・男女の出会いの形が「婚活パーティー」や「相席居酒屋」などの〈対面式〉⇒ビデオ通話など〈オンラインデート〉が新たな出会いの形に?? **コロナの影響**・・・